

「並び方」の考察：昭和の川型から令和のフォーク型へ 待ち行列理論の研究成果とその社会実装

1/
15
(水)

フォーク型



2024年の秋、某TV局から取材を受けました。取材内容は“昭和時代の公共での「並び方」は川型だったが、令和時代の今はフォーク型になってきている。その理由を科学的に説明して欲しい”でした。その理由を待ち行列理論・情報科学の研究成果の社会実装・普及という視点で考察します。社会実装・普及の分析には人文社会系分野の力が必要であること、「並び方」を変えることによる業務改善についても触れます。

12:10-13:00

E棟2階CroCuS

* セミナーの視聴方法

県大のOffice365Teamsで「コードでチームに参加する」にチームコード「4jw5fa8」を入力し、「Global / iCoToBa」のチームに参加してください。

前日までに、セミナーを視聴するためのZOOMのリンクをお知らせします。



スピーカー



奥田 隆史氏

情報科学部

グローバルセミナーは、毎月2回水曜日の昼に開催するカジュアルなセミナーです。

グローバル&グローバルな話題について、学部や専門を超えて話しましょう！